

## 子ども囲碁教室から院生誕生 南大沢囲碁同好会 信江 峻

月 1 回土曜日に松木小と長池小学校が交互に開催する寺子屋の囲碁教室に松木小学校 1 年生の上田龍明くんが来た。基本ルールは分かると言い、日本棋院「囲碁入門ネクストコース」9 路盤の問題集をすらすら解き清々しい印象を持った。

飲み込みが早いので、市主催の夏休み囲碁入門教室（倉内満氏が講師）や東浅川保健福祉センターのこども教室への参加を勧めた。翌年には第 7 回子ども囲碁大会に初段で、また第 2 回多摩地区 16 市対抗団体戦に参加していずれも好成績を収めた。

その後、新宿こども囲碁教室で勉強するため文京区に転校したと聞いた。そういえば、いずれの大会にもご両親が参加応援されており、引っ越しを決断されるとは驚いた。子どもさんの夢を一家を挙げての応援は爽やかだ。この教室は藤澤一就八段（父は故秀行・長女は里菜四段）が主宰し、院生やプロ棋士を多数輩出している。



先日インターネットで 1 月に上田くんが院生に合格したことを知った。日本棋院東京本院には院生が 50 人おり、彼は 10 歳 5 年生で一番若い。プロを目指して熾烈な戦いを勝ち抜き、ぜひ夢を実現するようみんなに応援したい。上田くんの他にも例えば倉内満氏経営の八王子囲碁将棋センターでは三木くん（榎原中 3 年）、原くん（七國中 1

年）、馬場くん（第九小 1 年）の 3 人が切磋琢磨し、子ども大会では 3 人とも第 7 回 7 級、第 8 回三段、第 9 回があれば六段と急速に腕を上げている。

放課後囲碁教室ではできるだけ多くの生徒に囲碁の楽しさを体験してもらいたいと思っているが、有段者が出ることは嬉しい。もっと上を目指す生徒には上田くんが道を拓いてくれた。東浅川センターこども教室、八王子囲碁将棋センター、藤澤塾などがある。八碁連主催の子ども大会、市民大会、級位者大会にも子どもたちが大勢参加して八王子に囲碁文化の華を咲かせてほしいものである。